

千曲・坂城地域 自立支援協議会だより

やよい号
〈令和5年3月発行〉

編集・発行 千曲・坂城地域自立支援協議会

事務局 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター

住所 千曲市戸倉2388番地 千曲市ふれあい福祉センター2階

TEL : 026-275-0548 FAX : 026-214-3013

E-mail : cs-soudan@bh.wakwak.com URL : <http://cs-soudan.pupu.jp/>

自立支援協議会 下半期の活動報告

～ 協議会全体の活動状況 ～

- 10月4日《第3回 地域連絡会》 地活のあり方について協議、第2回全体会について
- 10月28日《臨時運営委員会》 上半期の活動報告、第2回全大会について
- 11月25日【全体会】 第1部 楽団ケ・セラ コンサート 第2部 千曲市精神障害者家族会 小瀧廣氏 講演
- 1月17日～《第2回 さんきゅーあーと展》
 - 1月17日～27日 さんきゅーあーと展 in 千曲市ふれあい福祉センター
 - 2月1日～9日 さんきゅーあーと展 in 千曲市役所ガレリア
- 1月18日《第2回 Nimo包括検討委員会》 この地域で検討すべき地域課題について意見交換
- 2月1日《千曲・坂城地域自立支援協議会 新人職員研修会&交流会》（※概ね入職3年未満の職員）
- 2月21日《第4回 地域連絡会》 令和4年度活動のまとめ 及び 令和5年度の活動計画について
- 3月14日《第2回 運営委員会》 令和4年度活動のまとめ 及び 令和5年度の活動計画について

～ 各専門部会の活動状況 ～

《 相談部会 》

- 第4回部会(11月8日) 緊急時の対応について検討
- 第5回部会(1月17日) 相談員の役割について
- 第6回部会(2月21日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

《 はたらく部会 》

- 第3回部会(10月27日) 事業所課題と取り組み
- 第4回部会(12月22日) 工賃upの取り組み例など
- 第5回部会(2月22日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

《 ころ部会 》

- 第3回部会(11月17日) 研修「ピアサポーターと協働して作る地域精神保健福祉」
- 第4回部会(2月16日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

《 生活部会 》

- 第2回部会(10月3日) 地域課題(人材確保)について
- 第3回部会(12月7日) 研修「よりよい障がい支援に向けて」
- 第4回部会(2月2日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

《 さん・さんネット部会 》

- 第4回部会(10月25日) さんきゅーあーと展について(共同作品、周知方法、アンケートなど)
- 臨時部会(12月20日) 作品の設置方法について
- 第5回部会(2月24日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

《 こども部会 》

- 第4回部会(12月14日) 研修「『かんたき』って? ～医療的ケア児を中心に地域をつなぐ～」
- 第5回部会(2月8日) 今年度の振り返りと次年度の活動計画について

Nimo包括 1年目の歩み

令和3年度末に設置された千曲・坂城地域の「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討委員会（以下、『Nimo包括検討委員会』とする）」は、令和4年度になり本格的に協議の場としてスタートしました。

1年目の活動としては、まず千曲・坂城地域の状況とお互いの活動や抱えている課題を知ること、そして実状を把握したうえで地域の課題について協議することとしました。

《 7月20日（水） 第1回委員会 》

最初に千曲・坂城地域にお住いの精神障がいをお持ちの方の入退院の状況、手帳保持やサービスの利用状況、事前に調査した出席委員が所属する各団体の活動の様子や抱える課題について情報共有を行い、その情報を踏まえて千曲・坂城地域の課題について意見交換が行われました。

「医療と福祉の連携が必要だ」「施設がもっと増えると良い」などなど…委員の皆さんから様々な意見が出されて、検討すべき地域の課題が下記の表のように分類されました。

No.	大分類	地域の課題（具体的な内容）
1	障害の理解	関わり方が難しい、疾患名を言うと断られる
2	横の繋がり	繋がりと役割分担、情報共有の方法（ICTの活用、個人情報の扱い、範囲）
3	活動の場	本人の問題で行けない場合と事業所の事情で行けない場合がある、事業所が増えると良い
4	住む場所	グループホームが増えると良い
5	移動の問題	公共交通機関が弱い
6	当事者の声	当事者や家族の声を地域に届ける、家族だけで抱え込まない支援体制
7	その他	問題が表に出てこない、親亡き後の問題、危機的な状況の対応

《 1月18日（水） 第2回委員会 》

前回の委員会終了後に、7つの項目に分類された地域の課題についてNimo包括検討委員の皆さんにアンケート調査を実施したところ、全ての項目が検討すべき課題とされ具体的な内容について意見が出されました。

アンケートで出された意見を共有したうえで次年度に検討すべき課題について協議した結果、「当事者が中心でなければいけない」「もっと当事者の声を地域に届けていかなければいけない」「まだまだ障害の理解が足りないのでは」などの意見が出され、Nimo包括を進めるうえでもベースとなる部分であることから、**まずは「① 障害の理解」「⑥ 当事者の声」について包括的な取り組みを行っていくことになりました。**

いよいよ具体的な取り組みを検討していくこととなり、次年度のNimo包括検討委員会は3回の開催を予定しています。自立支援協議会においても、こころ部会を中心に具体的に取り組んでいく予定です。

新人職員研修会&交流会 が開催されました

2月1日、千曲市ふれあい福祉センターで千曲・坂城地域自立支援協議会 安藤会長の声掛けで新人職員研修会&交流会が開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、各種イベントや人の交流が制限されて約3年。障がい福祉の現場でも、事業者間の交流や横の繋がりが激減しました。そんな環境下で入職した3年生職員までを対象として19名が集まりました。

研修会として、千曲市と坂城町の各種障害手帳の交付や障がい福祉サービスの利用状況、基幹相談支援センターの役割についての説明がありました。

休憩をはさんで、後半は出席者が所属する事業所の事業内容や自分が担当している業務について等を発表しあい、情報交換を行いました。



最初は硬い表情で参加していた出席者ですが、少しずつ緊張がほぐれてきました。参加者からは、「これまで他の事業所の方と話す機会がなく、今日はいろんな事が知れて良かった」「不安や悩みを相談する余裕もなく業務にあたる毎日だったけど、みんな同じように悩み頑張っていることがわかり、また頑張ろうと思えた」などの感想が寄せられ、充実した時間が得られたようでした。

安藤会長から、今後も様々な職員を対象とする研修会&交流会を開催していく予定との言葉がありました。横の繋がりが強化され地域が活性化されたら素敵ですね。

さんきゅーあーと展 が開催されました

さん・さんネット部会主催の『さんきゅーあーと展』が開催されました。
今年度も、個人作品、事業所作品、共同作品…大勢の方に参加していただきました。
今回は2会場での開催ということで、昨年度からパワーアップした内容となっています。

《 千曲市ふれあい福祉センター 会場 》 ～ 1月17日 から 1月27日 ～

昨年、おもに坂城地域の方から「会場が遠い」とのご意見をいただき、さん・さんネット部会で会場の検討が行われて千曲市ふれあい福祉センターでの開催が決まりました。

開催前日に戸倉創造館から展示ボードを運び、委員の方とお手伝いに来てくださった皆さんが力を合わせて会場を設営しました。

期間中は、坂城方面の事業所からもご来場いただき、より多くの方にご参加いただけました。



《 千曲市役所ギャラリー 会場 》 ～ 2月1日 から 2月9日 ～

マルチルームの中央には今年も共同作品が展示されました。今年の作品のテーマは、『私の想いをブーケに込めて』です！

最終日にはカラフルな沢山の花であふれた素敵なブーケが出来上がりました。

障害のある方、支援者、そして作品を見に来場してくださった方々…皆さんの想いが込められた唯一無二の素敵な作品です♪

沢山の作品がギャラリーの通路を彩りました。

期間中は、たまたま用事があったり市役所を訪れた方も大勢いました。作品を通して伝わるものがあります。来場者からのメッセージです。

「ステキな作品ばかり！ パワーを頂きました♪」
「それぞれの想いが詰まった作品ばかり」
「どの作品も心が光っていて素敵でした」
「感動しました。素敵な作品をありがとう！」



ご参加された方、ご来場いただいた皆さん、そして運営に携わった関係者の方々、
たくさんの感動をいただきました。ありがとうございました。

♪ みんなに届け わたしたちの「声」・「想い」♪

令和4年度の最後を飾る「みんなに届け わたしたちの声・想い」は、千曲・坂城地域自立支援協議会の事務局を担っている基幹相談支援センターの中村所長と小山相談員の対談をお届けします。
千曲坂城地域で長く相談・支援をされているお二人に、これまでを振り返って思うことなどお話をいただきました。

Q. 千曲・坂城地域についてどのように感じていますか？

- (小山相談員) 私はここに来る前は長野市で働いていました。
働き始めた頃は今と比べて事業所も施設も少なく…
本当に大変だったけど、徐々に変わってきていると感じています。
- (中村所長) 千曲市と坂城町でコンパクトにまとまっていると感じています。
医療センターや養護学校などの資源がある「福祉のまち」
坂城町にもバラ園やネズミ大根…素敵な資源がありますよね。
いろんな強みと福祉が繋がっていると良いですね。
- (小山相談員) コンパクトさも強み！
可能性を秘めた地域、「変わる地域」だと思っています。



《左：中村所長 右：小山相談員》

Q. 自立支援協議会について感じることを教えてください

- (中村所長) 少しずつ形になってきましたね。
- (小山相談員) 協議会は地域をどうしていくかということをやっていくので、
大変だけど物凄く大事なところだと思います。
- (中村所長) 全体会などを通して地域や住民を巻き込んでいけると良いですね。

Q. 「これだけは言いたい事」などありますか？

- (中村所長) 支援の現場では、どうしても当事者主体の視点が弱くなってしまいう気がしています。
当事者の方って、ちゃんと主張をされるだろうし、決して弱い人ではありません。
協議会の中でも当事者や家族の声を吸い上げる場がなくてはいけないと感じています。

Q. 地域の皆さんに一言！

- (中村所長) 当事者の方も支援者の方も、共通して言えるのは「一人で抱え込まないで」ということ！
いちばん相談しやすい人に相談すれば良いんです。
話をするということは聞いてくれる人が傍にいるということですよ。
そういう人が必ずいるということが大事なのかな～！
- (小山相談員) 解決する・しないの問題じゃなくて、まずは「苦しいんだよ～」ということが言えると良いですね。
「一人で悩まないで～」ですね！



お忙しいところ有難うございました。
沢山の心に響く言葉をいただきました。

福祉の現場の人員不足がこの地域でも問題になっていますね。
「1人で抱えて苦しくなって、辞めちゃう前に！話をしましょう～！」
長きにわたり相談・支援にあたられてきたお二人をはじめ、
千曲・坂城地域で障害福祉に尽力されてきた諸先輩方の想いを繋いで
『誰もが安心して過ごせる地域』を目指していきましょう！

基幹センターよりお知らせ

基幹センターで相談・支援にあたられた小山さんが3月末で退職されることになりました。小山さん、7年間ありがとうございました。

《小山さんより一言》

相談支援員の小山です。この度、3月末をもちまして離職することになりました。在職中は皆さまに支えられて多くのことを教えていただきました。本当にお世話になりました。感謝申し上げます。
皆様のご活躍とご健康を心よりお祈りいたします。

《編集後記》

寒さが綻び、桜の開花の便りも耳にするようになりました。目の前の事を精一杯こなす毎日、あっという間の1年でした。
「自立支援協議会の見える化」をテーマに協議会だよりを発行してきましたが、より多くの方の理解が得られ、活発な協議会活動の実現に繋がれば幸いに思います。
1年間、本当に有難うございました。